

# 説教レジメ「あなたは大人？子ども？」 I コリント人への手紙 3章 1～4 節

2025 年 6 月 15 日 礼拝

## 【序論】

- ペンテコステ：聖霊による「宣教開始の号令」
- 聖霊様は、いのち、臨在、証しのことばを与えるお方
- 私たち(キリスト者)は「キリストの心(御霊の導き)」を持っている
- しかし、パウロはコリント教会を「肉の人」「幼子」と呼んだ
- なぜ、御霊に導かれた者たちが「肉の人」と呼ばれたのか？

## 【大前提】

信仰告白ができるのは聖霊様の働きによる( I コリ 12:3)

- 救われたすべての者は、御霊に属する者
- クリスマンである＝御霊の導きを体験している者

## 【本論】

1) パウロが「御霊に属する人」向けに話せなかった理由(3:1)

- 教会内に信仰的未熟さが残っていた
- 大人と子どもの違いは、人生経験の豊かさの違い
- 「キリストにある幼子」＝御霊に導かれて生きる人生経験が乏しかった
- 御霊の賜物の有無が霊的成熟の証ではない
- 御霊の賜物 と 御霊の実は違う
- だから、パウロは霊的な幼子に語るように、基礎的なことだけを語った

2) なぜ霊的に成熟できなかったのか(3:2)

- 「まだ無理だった。今でも無理」＝霊的成長の停滞
- 真理の深み(硬い食物)は聖霊に導かれる経験を通じて学ぶもの
- 聖霊による人生経験が不足していた

- ・ 信仰歴＝霊的成熟ではない(信仰歴 5 年の教会でも未熟だった)
- ・ 鍵は「御霊の実」を実らせる経験の積み重ね

#### 御霊の実(ガラ 5:22-23)

「愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制」

### 3) 自分の状態を見分ける方法(3:3-4)

- ・ 霊的に大人か、子どもかを見分けの基準＝行動の実
- ・ コリント教会には「ねたみ」「争い」「分裂」があった
- ・ ねたみを示すギリシャ語「ゼーロス」:熱心、熱意、情熱という意味がある
- ・ 聖霊によらない人間的な熱心や情熱は争いや分裂を引き起こす
- ・ 肉のわざを行っているのか、御霊の実を実らせているのか。それが霊的成長を見分ける方法

#### 肉のわざ(ガラ 5:19-21)

「ねたみ、争い、分裂、党派心、淫らな行い…」

### 【結論】

- ・ 御霊によって救われた者は、御霊に導かれて成長すべき
- ・ 霊的幼子のままでとどまてはいけない
- ・ 「硬い食物」(福音の深み)を受け取る者に成長せよ
- ・ 御霊の実を実らせる人生こそ霊的成熟への道

### 【応答の時】

- ・ あなたの霊的状态は「幼子」? 「大人」?
- ・ 御霊の実を実らせているか? 肉の行いに流されていないか?
- ・ 聖霊の満たしを求め、聖霊に導かれる人生経験ができるように祈り求めよう
- ・ 今、聖霊様が示されているが示される具体的な行動(愛、赦し、寛容など)がないか、聖霊様の声を聞こう
- ・ 示されていることがあるのならば、それに従う決心をしよう